

# AI や RPA を駆使した未来の監査「Smart Audit」実現へ

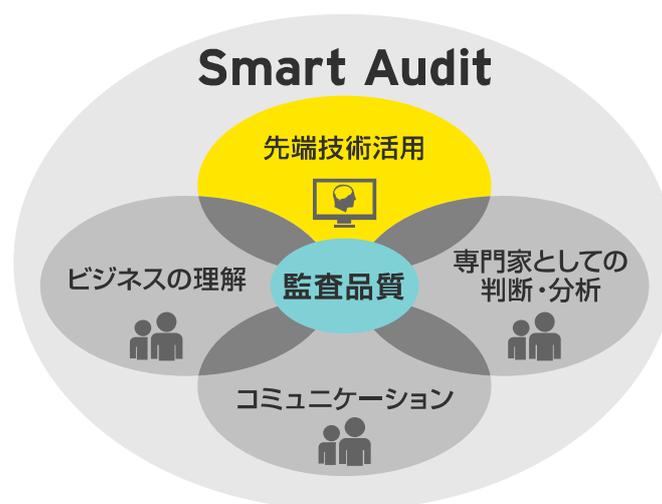
先端技術で監査の高度化、品質向上を目指すアシュアランス・イノベーション・ラボ設置

EY のメンバーファームである新日本有限責任監査法人は、11 月 21 日、複雑化する企業のビジネス環境の変化に対応し、より深度ある監査を実施する新しい仕組み「Smart Audit」の実現を推進する研究組織、アシュアランス・イノベーション・ラボを設置しました。

アシュアランス・イノベーション・ラボは、監査の高度化や品質の向上を主眼とし、AI(人工知能)や RPA(Robotic Process Automation)を含む先端技術の監査への活用研究に加え、デジタル時代の企業や社会のニーズに対応するプロフェッショナルの育成などを行う専門組織です。まずは当監査法人内で、経営執行役員をトップとして、公認会計士、コンピュータサイエンティスト、データサイエンティストを中心に 80 名ほどの体制でスタートし、今後は EY Japan 全体で連携して活動を広げていく方針です。

私たちは、AI や RPA 等の先端技術をビックデータの抽出や照合作業などの自動化に活用するだけでなく、より精度の高い将来予測や仮説を設定し、あらゆる面から分析した上で、監査上の判断に役立つ Smart Audit の実現に取り組んでいます。そして、Smart Audit により、ビジネスへの理解、クライアントとのコミュニケーションや専門家としての高度な監査上の判断に集中し、深度ある監査を実施していくことが、監査品質の向上につながると考えます。

アシュアランス・イノベーション・ラボは、外部有識者やテクノロジー関連企業、また EY のグローバルネットワークとも連携して、Smart Audit の実現を進めていきます。



《本件に関するお問い合わせ先》

EY Japan 新日本有限責任監査法人 広報室

Tel: 03 3503 1037 / Fax: 03 3503 1041